



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.658 2022.10.19

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

これから
どうなる?

赤羽のまちづくり

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会幹事会で第3回グループワーク



7月の第2回グループワークの様子(北区HPより)

19日、赤羽会館で開かれた「赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会幹事会」を傍聴しました。今回は過去2回の話し合いをふまえ、今後のまちづくりの方向性を地図にまとめる3回目のグループワークが行われました。(のの山けん)

まちづくり協議会では2015年度にまとめた「ゾーニング構想」を具体化するため、幹事会グループワーク(18年度)、グループインタビュー(19年度)に取り組んできましたが、20年度以降は新型コロナウイルスの影響で活動が中断していました。

今年度以降は、議論を掘り下げ、地域として求める方向性を「まちづくり提案」として示すことを目標としています。

今回のグループワークでは2班に分かれて、「どのような施設がどの場所にあつたらよいか」を議論。駅前再開発とあわせ文化施設やスポーツ機能を駅周辺に配置することを求める意見が出る一方、「(再開発で)高層にする意味がわからない」、「施設を駅前に集中させるのではなく、機能を分散し回遊性をもたせるべき」との意見も出されました。私もオブザーバーとして発言させてもらいました(下記参照)。

私もオブザーバーとして意見を述べました

“せんべろ”街は 存続への支援を

区内外から人気の高い“せんべろ”飲食店街を残し、営業が存続できるよう、区としての支援強化を求める。

赤羽公園はなく さず再整備を

赤小を移転させる案も出ているが、赤羽公園をなくすことには住民の反発が。むしろ公園の再整備こそ必要では。

タワマン誘致の 再開発でよいのか

住民から「タワマンなくして程よく発展!」との声も。超高層ビル誘致の再開発は、その是非をふくめ議論を。



協議会の議論から見えてきた まちづくりの課題

表面で紹介した赤羽駅東口まちづくり全体協議会幹事会での議論を通じて、赤羽駅東口周辺のまちづくりの課題が浮き彫りになってきました。(のの山けん)

赤羽小を赤羽会館・赤羽公園の位置へ移転させる案が浮上

一つの班のグループ討論では、「赤羽小学校を赤羽会館と赤羽公園の位置に移し、赤小の敷地に文化施設や公園機能を整備してはどうか」との意見が出されました。しかし、もう一つの班では、赤羽公園は地元の子どもや高齢者の憩いの場、貴重な緑のスペースであり、「公園は現在の場所に残しておくべき」との意見が多数となりました。

赤羽公園の存廃は、今後の大きな焦点となります。



超高層の再開発計画 赤羽小の保護者に説明を

討論の中で、「赤羽小の保護者たちは、駅前再開発の計画や、まわりに高層マンションを立てようとしていることをまったく知らない。きちんと説明の場を設けてほしい」との発言が。計画が本格化する前に、至急説明会を開くべきです。

情報公開・住民参加を広げ 開かれたまちづくりの議論を

協議会幹事会は、区議会議員のオブザーバー参加は可能になったものの、一般住民の傍聴は認められていません。また今後開くまちづくりワークショップも、定員は15名と限定的です。情報を公開し開かれた議論にしていくべきです。

今後の協議会の予定

今後、まちづくり協議会では、広く地域住民の意見を聞くために「まちづくりワークショップ」(12月10日・17日)、「まちづくり懇談会」を開催し、まちづくり提案をまとめていくとしています。

